

患者参加型シンポジウム「どうする“用語問題”」のお知らせ

日本血管腫血管奇形学会理事長
杠 俊介

第20回日本血管腫血管奇形学会学術集会 2024年7月26, 27日(金, 土), ホテルイタ
リア軒(新潟市中央区), 木下義晶会長(新潟大学 小児外科)において、**患者参加型シンポ
ジウム「どうする“用語問題”」**7月27日(土) 15:30~17:00を行います。病名・用語につ
いて様々な立場の人々が集まり意見交換を行います。

プログラムは下記のとおりです。

特別企画2(患者参加型シンポジウム) 15:30 ~ 17:00

「どうする“用語問題”」

座長 杠 俊介(信州大学医学部形成再建外科学教室)

神人 正寿(和歌山県立医科大学 皮膚科)

●講演: 15:30 ~ 16:30

演者 1: 「たかが医学用語 されど医学用語 ~ 何を最優先して決めるべきか？」

森内 浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)

2: 「病名問題についてのこれまでの動き」

神人 正寿(和歌山県立医科大学 皮膚科)

3: 患者会4団体代表

●パネルディスカッション 16:30 ~ 17:00

医学用語検討ワーキンググループ

パネリスト: 古庄 知己(信州大学医学部遺伝医学教室)

日本血管腫・血管奇形学会用語検討WG

パネリスト: 小関 道夫(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学教室)

力久 直昭(おゆみの中央病院形成外科)

患者会4団体代表